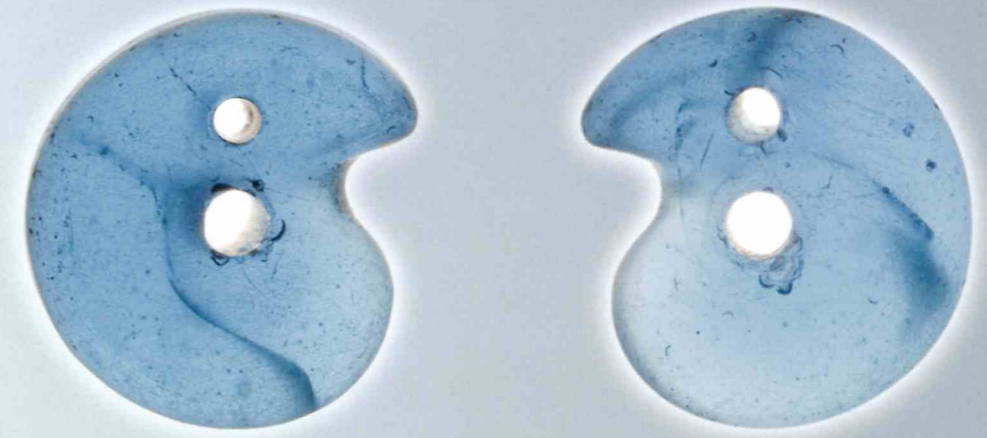


# 関連年表

| 時代   | 西暦   | 西谷墳墓群の歴史                         | 出雲平野周辺の歴史  | 日本の歴史   |
|------|------|----------------------------------|--|---|
| 弥生時代 | 紀元前後 |                                  | 「よすみ」の出現(青木遺跡)<br>大量青銅器埋納<br>(荒神谷・加茂岩倉遺跡)        | 奴国王、後漢へ使いを送る  |
|      | 100  |                                  |  |   |
|      | 200  | 3号墓・1号墓<br>2号墓<br>4号墓<br>9号墓・6号墓 | 王墓の出現(西谷墳墓群)<br><br>王墓の終焉(西谷墳墓群)                 | 倭国乱れる<br>卑弥呼、女王となる<br>卑弥呼、魏へ使いを送る<br>奝与、女王となる<br>巨大前方後円墳の出現<br>(古墳時代のはじまり)<br>大和政権の統一進む |
| 古墳時代 | 300  | 7号墳                              | 古墳が築かれはじめる                                       |   |
|      | 400  | 18号墳・21号墳<br>16号墳                | 前方後円墳の出現<br>(大寺1号墳)                              |   |
|      | 500  | 11号墳<br>15号墳                     |  | 南朝にたびたび使いを送る<br>(倭の五王の時代)   |
|      | 600  |                                  | 横穴式石室の流行<br>(今市大念寺古墳ほか)<br>横穴墓の流行<br>(上塩冶横穴墓群ほか) | 百済から仏像・経典が贈られる  |
|      | 700  |                                  |  | 聖徳太子、摂政となる<br>小野妹子らを隋に送る<br>第一回遣唐使を送る<br>大化の改新<br>壬申の乱<br>大宝律令                          |

# にしだにふんぼぐん 西谷墳墓群 —史跡ガイド—

所在地: 出雲市大津町  
指定日: 2000(平成12)年3月30日



## 交通アクセス

- JR・バス**  
「出雲市駅」から  
路線バス(出雲三刀屋線)【約17分】  
※便数に限りがあります。
- 一畑電鉄**  
「大津町駅」から徒歩【約20分】
- 自動車** ※駐車場は一般36台・大型バス4台  
身障者用4台(博物館駐車場含む)  
JR出雲市駅から【約10分】  
一畑電鉄「大津町駅」から【約5分】

## ご利用案内

- 史跡公園  
年中ご利用いただけます
  - 2号墓展示室  
ご利用時間9:00~16:30  
※年末年始をのぞく
  - 出雲弥生の森博物館  
ご利用時間9:00~17:00  
※火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日)  
年末年始をのぞく
- ☆ご利用料金はいずれも無料です(特別展観覧料は別途)

【お問合せ先】  
〒693-0011 島根県出雲市大津町2760番地  
出雲弥生の森博物館(出雲市文化財課) TEL0853-25-1841  
<http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori>



協力: 島根大学考古学研究室・島根県立古代出雲歴史博物館  
編集: 出雲市文化財課 発行: 2022年5月



島根県出雲市

3号墓のガラス勾玉と2号墓の墳丘

# いにしえの墓地「西谷の丘」

にしだに おか

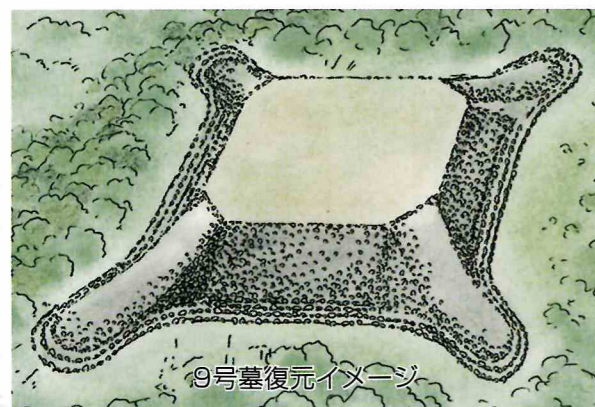
にしだにふんぼぐん やよい  
西谷墳墓群は、弥生時代の終わりごろ(約1800年前)から約500年間にもわたって墓地だったためずらしい遺跡です。

中でも2・3・4・9号墓は弥生時代に造られた全国最大級の四隅突出型墳丘墓(「よすみ」)で、代々の出雲王たちが葬られたと考えられています。古墳時代以降も古墳や横穴墓が造られ続けました。



## 大型「よすみ」の規模

| 墳墓番号 | 突出部を含む推定規模(長辺×短辺×高さ) |
|------|----------------------|
| 2号墓  | 約46m×約29m×約3.5m      |
| 3号墓  | 約52m×約42m×約4.5m      |
| 4号墓  | 約47m×約45m×約3.5m      |
| 9号墓  | 約62m×約55m×約5m        |



弥生時代に山陰地方を中心として流行したお墓で、四角の隅が突き出した独特の形が特徴です。「よすみ」は全国で約100基発見されていますが、その中で大ききトップ5の内4つが、ここ「西谷の丘」にあります。



古墳時代に造られたお墓です。「西谷の丘」では中小規模の円墳や方墳がたくさん造られました。



古墳時代の終わりごろに造られました。山の斜面に横穴を掘って造ったお墓です。

# 弥生王墓の発掘

～3号墓の調査から～

西谷3号墓では、島根大学考古学研究室を中心とした調査団によって綿密な発掘調査が実施されています。王墓の姿やそこに眠る出雲王の埋葬の様子など、様々な謎がこの調査によって解明されました。

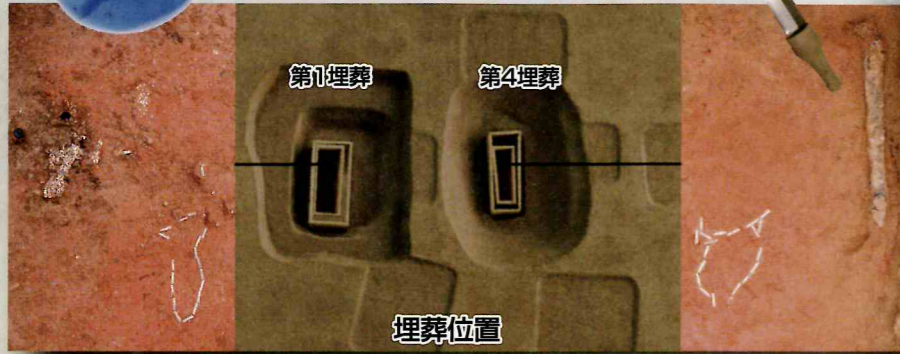


ガラス勾玉



鉄剣復元品

## 王の埋葬



墳頂部からは8つの墓穴が発見されています。中でも墳丘のほぼ中央にある第4埋葬とその隣に並ぶ第1埋葬は長辺約6m、深さ1m余りもある大きな墓穴でした。埋められた棺は二重構造の木棺で、その中からはガラスのアクセサリや鉄剣などが出土しています。棺内には大量の真っ赤な水銀朱が敷き詰められていました。

第4埋葬から発見された鉄剣は勇しい男王の姿を、第1埋葬から発見された大量のアクセサリは神秘的な女王の姿を想像させます。

## 石で飾られた墳丘



巨大な墳丘は、その斜面と裾まわりを大量の石で飾られていました。墳裾は2列の石で囲われていました。2列以上の石列を持つ「よすみ」は少なく、被葬者の地位の高さを示していると考えられています。2号墓でも2列、9号墓では3列の石列が確認されています。

西谷3号墓発掘調査写真：島根大学考古学研究室提供  
埋葬位置写真：島根県立古代出雲歴史博物館提供 写真の一部加工  
西谷3号墓出土品：島根大学考古学研究室所蔵



## 墓上の儀礼

大量の土器

4本柱の跡

イメージ図 早川和子作画

墳丘のほぼ中央にある第4埋葬では、棺を埋めた後にそれをとり囲むように巨大な4本の柱が立てられました。棺の真上にあたる場所からは、朱の付いた丸い石が発見されています。ここを中心に亡き王の葬送儀礼がおこなわれたと考えられます。

儀礼に使用された土器は、第1埋葬と合わせると300個体以上にのぼり、その中には吉備の土器や北陸系の土器も確認されました。出雲王の葬儀には、遠く離れたクニからもたくさんの人々が参列していたようです。

## よすみの突き出し

「よすみ」最大の特徴は四方に突き出した墳丘の突出部です。3号墓では幅5mもの巨大な突出部が確認されました。

突出部は墓上へ登るための道として発達したものと考えられていますが、西谷王墓の時代にはその独特の形が地域のシンボルとして山陰を中心に大流行しました。



# 史跡公園「出雲弥生の森」みどころガイド

西谷墳墓群は、2000(平成12)年3月に国の史跡として指定されました。

出雲市では、より多くの方に史跡に親しんでいただけるよう、その一部を史跡公園「出雲弥生の森」として整備し公開しています。



出雲弥生の森博物館: ご利用時間9:00~17:00



2号墓展示室: ご利用時間9:00~16:30

